

もくじ

- ・ まほう^{つか}使い^{でし}の弟子

まほう^{つか}使い^{でし}の弟子

げんさく
原作： ポール・デュカス

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

とある、^{やまおく}山奥の^{もり}森の^{なか}中に、^{つか}まほう使いと、その
^{でし}弟子の^{おとこ}男の子が、^{ふたり}二人で^く暮らしていました。

^{おとこ}男の子は、^こ早く一人前の^{つか}まほう使いになるために、
^{まいにち}毎日^{しゅぎょう}まほうの修行にはげんでいました。

ある日、^ひまほう使いは^{つか}朝から^{あさ}出かける^で用事が
^{いえ}あったので、^で家を出る^{まえ}前に、^{おとこ}男の子に^こ言いました。

^{わたし}「私が^{かえ}帰ってくる^{まえ}前に、^い井戸から^ど水を^{みず}くんで、
^{ふる}風呂^{おけ}いっぱい^た溜めておきなさい」

「わかりました、^{せんせい}先生、^きお気をつけて！」



5

まほう使いがいなくなると、男の子はすぐに
井戸へ行って水をくみ始めました。

しばらくして、男の子はふと、まほう使いの部屋
のドアが開けっぱなしになっているのに気がつきまし
た。

男の子は、一度もまほう使いの部屋の中を見た
ことがありませんでした。

「・・・こっそりのぞくだけなら、先生にばれないよ
ね」

男の子は、まほう使いの部屋に入りました。

